



義方地区 小地域懇談会 を開催しました



7月10日(水)に 昼の部13:30～・夜の部19:00～
の2回、小地域懇談会を開催しました。今年は、DVD視
聴とグループワークを組み込み、好評に終わりました。



DVD視聴

『あなたの笑顔がくれたもの～周りから見えにくい障害・生きづらさ～』

～あらすじ～

美容メーカーでチームリーダーを務める麻友子は、幼馴染の紗希から発達障害であることを告白される。麻友子は「そんなふうに見えない」「実は天才だったりして!」と励ますが、紗希は困惑した表情で言葉を失くす。

麻友子と同じチームで働く後輩の桃田は仕事が早く、いつも定時に帰っている。親睦会を企画するも、桃田だけは「業務でないなら」と参加には消極的で、他の社員から「ノリが悪い」と非難される。

ある日、麻友子は公園の多目的トイレでポーチを拾ったことからオストメイトである女子高生の美織と出会う。周りにはオストメイトであることを隠さず伝えているという美織にたいし「強いね」と口にする麻友子だが、「そう見えるだけかもよ?」と複雑な表情を浮かべる美織。

後日、介護用おむつを持って歩いていた桃田と偶然鉢合わせた麻友子は、桃田が認知症の祖母の介護をしていることを知る。そして、自身も小学生のころ桃田と同じような境遇だったことを思い出す。

麻友子が美織に過去の話打ち明ける。美織から「ヤングケアラーだったんだね」と言われた麻友子は初めてそういう言葉があることを知る。そのことから、幼馴染の紗希や後輩の桃田に対してきちんと向き合えていなかったことに気付いた麻友子は2人とあらためて話すことを決意する。



外見で決めつけたり、「障がい者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うという大切さをこのドラマを通して理解を深めました。



グループワーク



4～5人のグループに分かれ、DVDについてグループワークを行いました。

今年は、昼の部に20名、夜の部に大雨警報の中7名の校区民の方が集いました。DVDには「オストメイト」や「ヤングケアラー」、「発達障害」など、現代の人権問題が組み込まれており、とても勉強になり、又、深く考えさせられる内容でした。そのため、グループワークでは皆さんがたくさんの意見や問題解決について話し合うことができたようです。皆さん一人一人が真剣に発言し合う姿がみられました。机なしで輪になってするグループワークも、親近感がわき、話しやすかったり意見を言いやすかったと、盛り上がりました。来年にも繋げていきたいものです。



小地域懇談会 アンケート感想報告

参加者 27名中 回答者21名

参加者詳細

○年齢層

■40歳未満 0名 ■40代 1名 ■50代 3名
■60代 8名 ■70歳以上 9名

○参加経験

■初めて 6名 ■初めてではない 15名

○内容について

■よかった 21名 ■よくなかった 0名 ■分からなかった 0名

感想

- ・ DVDの内容がとてもよかった。よかれと思って言ったりした事が相手にとって良いことなのかどうかは分からない。常識にとらわれなくていきたいと思う。
- ・ とても話しやすい雰囲気をつくって下さって、気持ちよく参加出来ました。
- ・ 障がいに対してまわりの方がバリアーをはりめぐらしていると思った。
- ・ DVDの内容が、現代の人権問題を考えさせられるもので、とても良かったと思う。
- ・ 人権問題について他人と意見を伝え合ったり、話し合ったりすることも、とても意義あることだと思った。
- ・ グループワークで色々な方の体験が聞けて良かった。みなさんそれぞれの話を聞いて決めつけはよくないと感じました。